

別添 1



KANSAI 2021 World Masters Games

大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

2021ワールドマスタースゲームズ関西大会 「第10回記念大会」

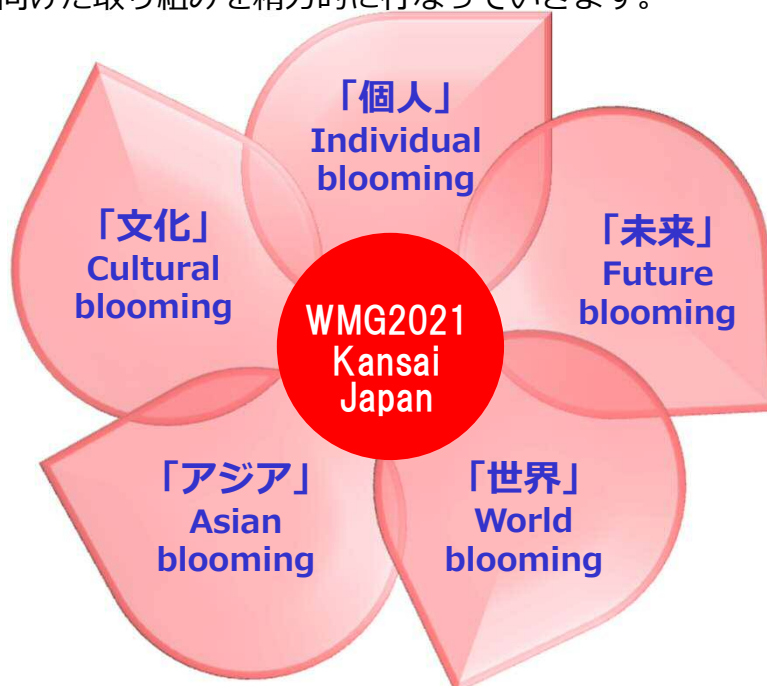
“The Blooming of Sport for Life”

<WMG2021関西大会構想>

関西広域連合は、第10回記念大会となる2021年ワールドマスタースゲームズを、アジア初の開催都市として、生涯スポーツのアジア発信拠点を目指す日本・関西圏に招致し、圏内の豊富なスポーツ環境・文化資源および観光資源を融合させた関西ブランドによる生涯スポーツ最高峰の国際総合大会を開催します。ワールドマスタースゲームズの主要理念である「スポーツ・フォー・ライフ（人生を豊かにするスポーツ）」を基軸に、各個人のスポーツライフの開花とそれを叶える生涯最高の華舞台のシンボルとして、本記念大会の歴史的開花を実現します。

<大会テーマと基本理念>

2021ワールドマスタースゲームズ関西大会は「The Blooming of Sport for Life（スポーツ・フォー・ライフの開花）」を大会テーマとして掲げています。その中には、個々人がもつスポーツライフへの情熱とチャレンジによる「個人の開花（Individual blooming）」、大会招致と共に育まれるスポーツ・観光・加齢に関わる新たな「文化的開花（Cultural blooming）」、アジア開催を目指してきた長年のアジアンドリームの実現と、アジアに内在するマスタースポーツ文化の表出化を目指す「アジアでの開花（Asian blooming）」、これまでの大会を讃えると同時に、アジア初の開催により本大会が実質的にも真の国際大会となることを示す「世界的開花（World blooming）」、そして、次世代への啓発と応援を送るメッセンジャーとしてマスタースポーツ文化を位置づけ、次世代のより豊かなスポーツ・フォー・ライフの実現に向けてエールを送る「将来の開花（Future blooming）」、以上の5つで表される基本理念が存在します。本大会テーマと基本理念をもとに具体的な大会ビジョンと計画案を設定し、今後の大会準備においてそれらの実現に向けた取り組みを精力的に行なっていきます。



大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

大会テーマと基本理念

<2021 WMG関西大会の開催理念>

2021 WMG関西大会では、大会テーマのもとに以下の開催理念を掲げ、第10回を迎えるワールドマスターズゲームズとしてふさわしい歴史的大会となるよう取り組んでいきます。

「個人」 Individual blooming

<選手一人ひとりが最高の競技体験を記憶する大会>

大会の主役である世界中の熟年アスリートのチャレンジを、最高の環境と機会を提供することで最大限にサポートし、それぞれの記憶に残るスポーツレガシーを生み出します。

「文化」 Cultural blooming

<関西のスポーツツーリズムで世界を魅了する大会>

関西各地で育んできた独自のスポーツ資源と観光資源を結集し、成熟したおもてなし精神により、世界からの出場選手と同伴者が共に感動するスポーツツーリズムの文化的体験を提供します。

「アジア」 Asian blooming

<アジアが共感し活性化する大会>

アジアに内在する様々なマスターズ精神を表出させ、アジア初開催となる大会の感動と成果を共有します。またこれを契機として、マスターズスポーツムーブメントを拡大させ、アジア全体の活力化を推進します。

「世界」 World blooming

<生涯スポーツの国際的發展に寄与する大会>

最も国際性と祝祭感に溢れた世界生涯スポーツ大会としての第10回記念大会を開催します。また、日本・関西独自の視点を融合した新たなマスターズスポーツの可能性を示すことによって、本大会のさらなる国際的發展に貢献します。

「未来」 Future blooming

<元気で活力のある高齢社会のシンボルとなる大会>

次世代に対して、人生を豊かにするスポーツの可能性と力を伝え、マスターズスポーツへの夢と憧れ、将来に向けての躍動感と活動力を紡ぎ出し、元気で活力ある高齢社会のシンボルとして活用することでアクティブエイジングの人生観を育みます。



大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

ワールドマスターズゲームズを開催する動機

<大会招致の経緯と動機>

かつて2009年ワールドマスターズゲームズ（第7回大会）の開催を目指し、アウトドアスポーツの競技種目の多いワールドマスターズゲームズの開催候補地として、豊富な水資源・アウトドアスポーツ資源に恵まれる滋賀県が大会招致を行いました。結果的には、他の立候補都市の1つであったオーストラリア・シドニーがホスト市として決定し、アジア初となる日本開催の夢は叶いませんでした。しかし、この招致活動のプロセスの中で、世界初となるマスターズスポーツの国際フォーラムの開催、その際に正式発表された滋賀マスターズスポーツ推進宣言を皮切りに、招致活動に関わった全国のスポーツ振興関係機関や競技団体の結束力がより強固となり、将来の開催実現に向けた熱意は益々強いものとなりました。同時期に、滋賀県を含めた関西圏におけるマスターズスポーツ関係組織の発展や各競技大会の始動、マスターズスポーツ人口の拡大、さらには一般成人・中高年アスリートを対象とするスポーツ産業、文化、教育、学術的エリアでの注目度・関心が一層高まり、積極的な招致活動は我が国に強いマスターズレガシーをもたらしたと言えます。そして、世界一の超高齢社会を反映する熟年人口の増大と、長寿国の宿命とも言える人生後期のQOL（生活の質）への関心の高まり、健康で活力ある加齢を目指すアクティブエイジングへの関心、その中でスポーツを本格的に実践する成人・中高年におけるスポーツ愛好者の増大等、生涯スポーツに対する国家的、組織的、個人的関心が拡大し、この勢いが前述したマスターズレガシーの力と相まって、生涯スポーツの世界最高峰の大会を再度、今回は滋賀県を含めた関西広域連合というドリームチームの総力でもって開催の実現に向けて始動することになりました。ワールドマスターズゲームズの開催は我が国にとって長年の悲願であり、この夢が2021年に開花することを信じています。





大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

ワールドマスターズゲームズを開催する動機

<アジア・日本で開催する意義と可能性>

世界でも例をみない長寿化と超高齢化が進んでいるアジア・日本は、本大会の理念をPRできる最適な地域となります。世界の4分の1の中高齢者人口を擁するアジアと日本において、生涯スポーツの最高峰大会を開催することは、スポーツを通じてアクティブエイジングという躍動感に満ちた高齢社会の実現と人生観の醸成を目指すマスターズスポーツムーブメントをさらに加速化させ、さらにはアジアと日本における独自の文化・視点の融合により、そのムーブメントがさらに進化していく可能性を有しています。

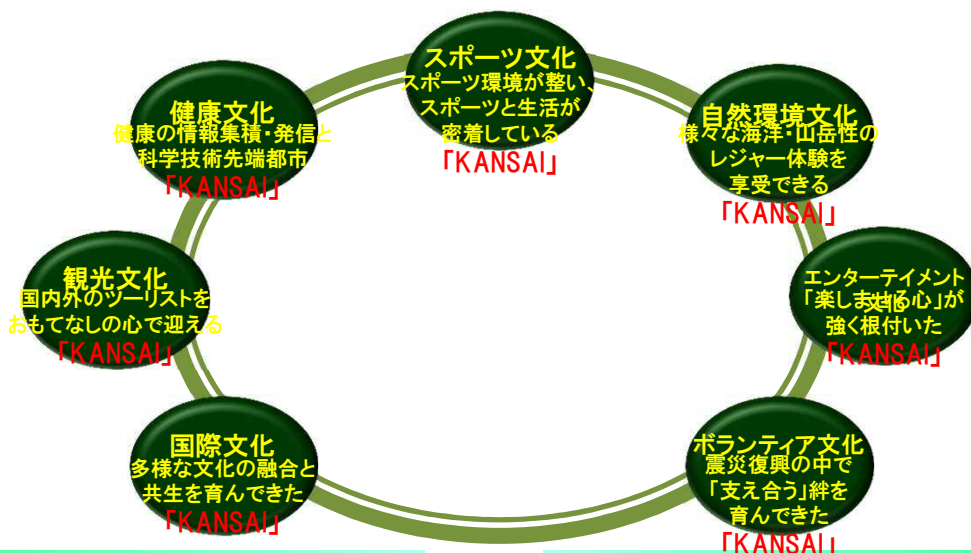
<関西広域連合での開催意義と可能性>

日本においては、市・町・村という基礎的地方公共団体と、市・町・村を包括する広域の地方公共団体である都・道・府・県が地方自治を行っています。

この枠組みを超える広域課題に取り組むために日本で初めて設立された特別地方公共団体が関西広域連合です。

関西広域連合は、複数府県により設立された日本初の特別地方公共団体で、7つの分野、防災、観光・文化振興、産業振興、医療、環境保全、資格試験・免許等、職員研修の広域事務を担いながら、必要に応じて新たな広域課題にも対応します。関西広域連合は、関西地域の市・町・村・府・県との関係はそのままに広域行政を担うという点で、EUROPEAN UNIONの構造と類似しています。

このような特色を持つ関西広域連合は、関西圏の7府県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、鳥取県）と、その府県内の4都市（京都市、大阪市、堺市、神戸市）により構成され、福井県、三重県、奈良県も連携団体として並び、人口2,090万人、面積31,000km²、GNP5,900万ユーロという先進国1国に相当する存在です。2010年の発足後、たとえば国際観光では中国、韓国、シンガポール、マレーシアなどでトップセールスを行うなど、東アジアでの存在感が増してきているところです。また、圏内は世界的にも認知されたスポーツ、健康、観光、国際、復興、ボランティア、エンターテインメント、自然環境に関わる豊かな環境・サービス・人的資源をもつ世界的にも比類のない文化圏を形成しており、これらはマスターズスポーツの理念と大会の性質にベストマッチし、開催効果を最大化する能力と可能性を有しています。また、関西圏は古くから上方文化として、ヒューマニティ、エンターテインメント、等に表される庶民文化が存在し、エリートスポーツではないマスターズスポーツの精神は感性的にもマッチングするものです。これらの文化的、環境的、人的、感性的資源を結合し、関西広域連合がもつ組織力と財政力を推進基盤として、歴史的な成功を収める卓越した2021大会を開催することが期待できます。



大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

大会ビジョンとコンセプト

<大会ビジョン>

WMG2021関西では、前述した大会理念とテーマ実現に向け、前回のシドニー大会を筆頭とする過去の大会成果も踏まえながら、関西圏における各種資源と各地域の独自性を融合させると共に、関係機関や団体・ホスト地域からの情熱とホスピタリティをもとに以下のような大会ビジョンとマネジメント目標を設定しています。



「祝う」 Celebration

- <過去の大会レジェンドを称え、アジアマスターズムーブメントの幕開けを告げる開会式> アジア初開催を祝う第10回記念大会にふさわしい開会式典を開催します。
- <オール関西で選手出場を祝福> 大会期間中は国内外から集まった選手を関西圏各地で歓迎し、地元の各競技会場において、スポーツ・フォー・ライフの実現を達成した偉業を讃める機会を提供します。
- <未来へのパッションを繋ぐ閉会式> 大会における出場選手のパフォーマンスと、それを支え上げたサポーターの貢献を祝福すると同時に、次回の開催地での大会成功とマスターズスポーツムーブメントのさらなる拡大と深化に対し、希望とエールを送る閉会式典を開催します。

「参加する」 Participation

- <過去最多の熟年アスリート出場> 過去最多の35,000人の出場者による過去最大規模の生涯スポーツメガイイベントを実現します。
- <過去最多の競技種別の開催> 過去最多の29競技59種別の開催によって、国内外からのマスターズスポーツ種目愛好者に対する門戸を拡大し、世界舞台での競技機会を可能な限り提供します。
- <チームスポーツの醸成> ファミリー、ペア、カップル、クラブ、サークル、同窓会等でのチーム参加を積極的に推進すると共に、自国だけではチーム登録ができない場合は多国籍チーム結成による出場機会を提供します。

「極める」 Mastery

- <最高のパフォーマンスを発揮できる最上の環境設定> 各競技種別の出場選手がこれまでの最高のパフォーマンスを発揮できることを最優先に考慮した最上のロケーションとコンディションを伴った会場環境を提供します。
- <アジアのマスターズ精神を顕在化> 伝統的マスターズスポーツ (Traditional Masters Sports) としての武道競技の開催と、「道」の精神に基づくアジアマスターズの哲学とムーブメントを発信します。
- <スポーツキャリアの成熟を支援> 一般アスリート参加者のスポーツライフの成熟化と共に、元プロ・エリート選手に対する競技へのカムバックの機会を提供し、ベテランマスターズとしてのセカンドキャリア実現に寄与します。



大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

大会ビジョンとコンセプト

「交わる」

Interaction

- <ナショナルデビューの支援> アジア諸国を含めたWMG未参加の国々への積極的なアプローチによる、過去最多の120ヶ国以上の出場数をめざし、国際色豊かな大会イメージをさらに高め国際交流を促進します。
- <関西マスターズビレッジの設置> 各府県の主要会場周辺に、選手・同伴者やボランティアが集い、競技記録、関係ニュースを提供できるマスターズビレッジを設置し、選手やボランティアの交流の場としての機能に加え、主催地の地元住民へのPRと接点の場として機能させます。
- <マスターズアスリートの社会貢献と地元交流> 大会出場者からマスターズアスリート・ボランティアを募集し、会場エリア周辺の公共機関・スポーツ団体に対するスポーツ教室やワークショップを開催し、学校や公共団体等へ当該競技の事前学習と応援ツアーを設定し、選手と地域との交流を図ります。

「支える」

Support

- <サポートパッションの集結> マスターズボランティアでは、サポーターとのニーズマッチングを重視しながら、支える喜びと大会貢献を体感できるイベントをボランティアと合作していくことを目指します。
- <マスターズを支えるユースボランティアの育成> 関西圏における教育・大学機関でのユースボランティアの育成を行います。
- <マスターズスポーツへの共感力を結集> ワールドマスターズゲームズの開催を関西圏での産民官学の共同プロジェクトとして位置づけ、マスターズスポーツムーブメントに対して協力と共感を伴った推進力を創造していきます。

「観る」

Spectator

- <マスターズ選手のパフォーマンスを見つめ応援する声援を高める> スポーツクラブツーリズムやファミリーツアー等によって直接観戦する応援者の同伴を積極的にすすめ、各競技会場での声援のボルテージを高めます。
- <スペクテイタースポーツとしてのマスターズ> 応援者以外の直接観戦者数を増加させるため、大会や出場選手の事前PRと共に、元プロ・エリート選手、オリンピック等の出場による一般アスリートの競争の場を提供し、大会コンテンツ開発とメディアPRを積極的に行い、スペクテイタースポーツとしてのマスターズ大会の潜在性と可能性を拡大していきます。

「巡る」

Tourism

- <豊富な関西版スポーツツーリズムメニューの提供> 関西圏全域にわたる観光資源を網羅したスポーツツーリズムのメニューを開発し、全ての大会出場者・同伴者が事前に情報を得て選択できる総合的な観光情報支援を行います。
- <大人のスポーツ旅情を充たす成熟した観光プログラム> 関西内の競技会場、宿泊、各地域の豊富な観光資源がスムーズに結合し、全ての選手と同伴者に対して、質の高い成熟したスポーツツーリズム体験を提供します。
- <マスターズインフォメーションセンターの配備> 大会期間中の主要空港、交通要所、大会センター、マスターズビレッジ等において、大会情報や観光情報を含めたインフォメーションセンターを設置します。

「育む」

Cultivation

- <マスターズスポーツ・キャンペーンの展開> ユース世代を含めたマスターズスポーツの理念を中核とした啓発キャンペーンを展開し、新しい加齢観に伴う生涯スポーツを提唱するメッセージを関西から発信します。
- <スポーツの生涯化> 開催スポーツ競技種目を中心としたスポーツのユニバーサル化をPRし、スポーツ振興の関係者や指導者に対し、中高齢期における生涯スポーツの可能性を提唱していきます。
- <関西マスターズファミリーの育成> 大会終了後も、出場者・同伴者・サポーターを関西マスターズファミリーとしてネットワーク形成を進め、大会がもたらした成果とレガシーとして位置づけます。



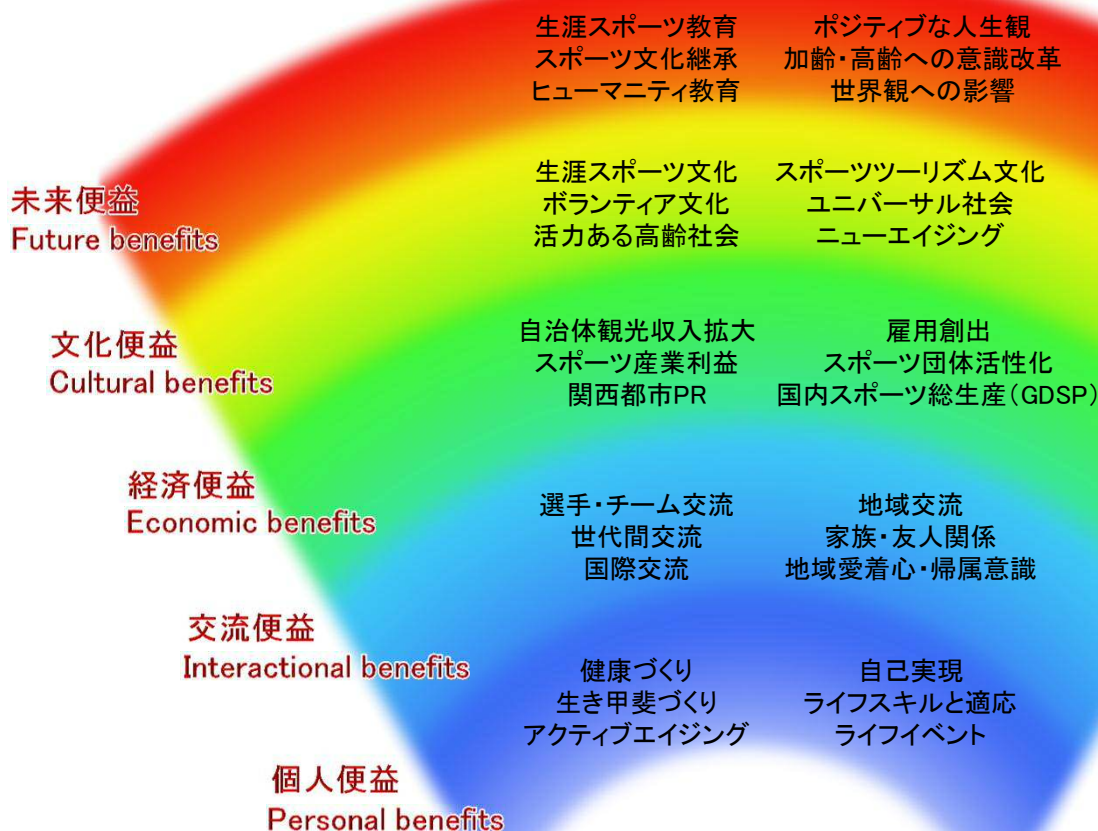
大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

大会がもたらす効果とレガシー

<大会開催がもたらす効果と可能性>

これまでの国際スポーツ大会は様々な恩恵を主催地や主催国に残してきましたが、社会的メッセージ性の高いワールドマスターズゲームズは、既知の効果を超えた様々な便益をもたらすことが期待できます。開催準備にあたってはこれらの効果の最大化に努めながら、初のアジア開催と関西招致による潜在的な便益を顕在化させ、国外に対する短期的・長期的便益も意識しながら、それらのモニター評価や総合評価を実施していきます。

ワールドマスターズゲームズ開催が与える便益は、「個人」、「交流」、「経済」、「文化」、「未来」の側面が挙げられます。生き甲斐やアクティブエイジング等の個人レベルにおける「人生」の活性化を中心に、対人交流、地域交流、国際交流、あるいはマスターズスポーツに特徴的な世代間交流を含めたコミュニケーションと相互理解の活性化、また、観光・スポーツ産業に代表される経済活性化が期待できます。また、ワールドマスターズゲームズは、成熟した生涯スポーツ文化のシンボルであるが故に、大会の開催が起爆剤となり、生涯スポーツやスポーツツーリズムの文化振興を加速化します。さらには躍動する中高年アスリートの姿が、これまでのネガティブな加齢観や高齢者像のステレオタイプや偏見を払拭し、明るく活力に満ちた人生観を育むための未来に向けた教育的・啓発的效果を生み出していくことも期待できます。我々はマスターズスポーツのもつパワーを信じ、それがよりグローバルに、そしてより永続的に、人々の心の中に伝達されていくことを強く願っています。





大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

＜生涯スポーツのアジア中核拠点を目指す「KANSAI」＞

2021WMG関西大会は過去の大会のレガシーを増幅させると共に、新たな潮流を国内、アジア、世界との関係性の中で育んでいく可能性を有しています。マスターズスポーツの精神と価値が関西での開催により、精神的なレガシーとして国内・アジアに浸透していくことを確信しています。世界の4分の1の中高齢者人口を擁するアジアと日本の中で、マスターズスポーツが発展するよう、ワールドマスターズゲームズとの連携はもとより、既に開始されているヨーロッパマスターズゲームズやアメリカマスターズゲームズと協力し、アジアでの夢舞台の創出とムーブメントを先導する中核拠点として、「KANSAI」の力を将来に向けて発揮します。

また、本格的な高齢社会を迎える日本において、人々が生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で生きがいのある生活を維持するとともに、スポーツを核とした新しい交流やツーリズムの進展、スポーツ人口増加等による関連産業の活性化等に資するため、オープン参加型の関西版マスターズスポーツ大会の創設も検討しています。

これにより、国内外から広く参加できる環境を関西に定着させることができると考えています。

＜WMG開催による最高のレガシー：Masters Dreamers＞

関西大会では、出場者全員が「スポーツ・フォー・ライフ」を実践しているレジェンドであり、そのレジェンドから発信されるメッセージが国内外の若者に伝播されていくことを確信しています。レガシーの永続的な継承が実現されていることは、ワールドマスターズゲームズが最も誇るべき意義であり、我々が本大会の開催を強く待ち望んでいる普遍的な理由です。世界のより多くの若者がスポーツを通じて夢と希望を持ち、躍動感あふれる人生の未来予想図を描けるように、我々は大会の招致と成功にベストを尽くします。物理的あるいは経験的なレガシー以上に、我々にとって最も重要なのは、次世代の心の中に宿っていくレガシーです。「Master Dreamers」、2021ワールドマスターズゲームズ関西では、マスターズスポーツのパワーと可能性を信じ続け、未来に向けての夢を繋いでいきます。





大会ビジョンとコンセプト及び、レガシー

大会がもたらす効果とレガシー

<スポーツツーリズムによる地域の活性化>

スポーツの普及・振興において私たちがめざすことは、市民への「豊かな人生や余暇生活の提供」ばかりではなく、スポーツのもつ「集客機能」への期待です。オリンピックやサッカーワールドカップなどの大規模スポーツイベントが莫大な集客力と経済波及効果をもたらすことはよく知られていますが、ワールド・マスターズ・ゲームズも強力な集客力を有しており、私たちも2021年のワールド・マスターズ・ゲームズの招致をきっかけに「スポーツツーリズム」に注目し、スポーツを集客装置の核として都市戦略の根幹に据えたいと考えています。

日本政府は2011年6月に「スポーツツーリズム推進基本方針」を取りまとめ、日本をスポーツで旅を楽しむ国にしたいという施策を打ち出しました。日本政府のバックアップのもと、我々は新たなスポーツツーリズムの領域を構築していきたいと思えます。スポーツをテーマとすることで新しい旅行の魅力を創りだし、関西が守り育ててきた自然の多様性や歴史・文化など多種多様な地域の観光資源を顕在化させ、スポーツという新たなモチベーションを持った訪日外国人客を惹きつけたり、国内旅行の新たな需要を掘り起こしたりすることで、地域の経済活動に寄与したいのです。そのために、私たちは以下の目標を定めます。

1. 関西を訪れる訪日外国人客の増加

「アジアの文化観光首都」をめざし、関西の魅力や奥深さをスポーツという新たなテーマで伝えます

2. 国際イベントの開催件数の増加

「観る」「する」「支える」スポーツイベントの開催件数を増やします。開催を通じ、地域と訪問客との交流を通じてより豊かな関西を実現します。

3. 国内観光旅行の宿泊数・消費額の増加

「観る」スポーツの参加者に新たな観光魅力の発信を行い、「する」スポーツの新たなコンテンツ開発を行うことで関西での滞在日数を増やし、旅行消費額の拡大をめざします。

私たちは、2021年ワールド・マスターズ・ゲームズの招致と開催を通じ、地域に経済的効果と社会的効果をもたらすことができるよう、新たな観光分野であるスポーツツーリズムを振興し地域の活性化につなげたいと思えます。

